

# 向学館通信

2007・7・27

## 楽しい夏休みが始まりました。

例年のことですが夏休みの生かし方は、個人差が非常に大きく、それが秋以降の学習にダイレクトにつながります。

**身体を使う、本を読む、自然の中で過ごす、など有意義な時間をすごしましょう。そして、勉強も！**

## カンニングのような勉強の仕方、何も頭に残らない

英語の勉強で、とんでもない「勉強の仕方」をしている人がいることがわかりました。注意を促すために、そのやり方を紹介しておきます。

英語のテキストを各人にわたしていますが、そのテキストには解説の部分と問題の部分があります。成績が上がらない人ほど、解説の部分をほとんど読みません。そして、いきなり問題に取りかかっています。そして、解説を読んでいないので、当然のことですが、答えを書くことができません。そこで、解説のほうをながめて、答えをさがします。問題と似たところを発見すると、そこを写していきます。

このようなやり方で、テキストを消化していきませんが、これでは答えを写しているだけで、覚えることも頭を使うこともしていません。これは、勉強ではなく、カンニングそのものです。とくに、宿題をこのやり方で「消化している」人が何人かいることがわかりました。宿題は解答もわたしてあって、自己採点をするようにしています。ところが、こういう生徒は、みんなきれいに赤丸で正解になっているのです。それで、本当にわかっているのかとためしてみると、全く覚えてもいないし、わかってもいないことが判明しました。

そうした生徒に「このような勉強方法をこれまでずっとやってきたのか」とききましたら、そうだとされました。これでは何も頭に残らないのが当然です。小中学校とこうした方法を続けてくれば、大変なことになります。この子たちは「答えを書いていくことが勉強なのだ」と信じきっていたようです。こんなやり方を長年続けているのに、誰も改めさせなかったことも、こわいような話だと思いました。

こうした方法では、何の成果も得られません。「見て写す」という安易なやり方を何年も続けると考えることも覚えることもおっくうになり、頭脳活動が停止状態になります。直ちに改めましょう。漢字を覚えるときも、ただ「見て写す」だけというやり方の人は、同様になかなか覚えません。勉強の仕方に、もっともっと注意を向けることが大切だと、改めて思いました。

## パソコンで英語を、しかも自習で！

パソコンを使った英語の学習が、英語の習得に大変効果的です。これは、この方法を以前から採用している他塾の経験からもわかっています。

ぜひ、英語を当塾で受講している人は、これを活用してください。このシステムは「アロックワーク」という教科書準拠に対応したソフトです。正確な発音が聞けて、単語も何度でも練習でき、間違えると同一単語が「再入力」を要求してきます。また、文章も日本語をみて英語を入力していくシステムで、やっていくうちに文法も覚えられるようにできています。

これは「自学自習」出来るシステムで、一人で学習できます。だから自習時間にやってもらおうと思っています。ところが、「自習に来てやりなさい」といっても、積極的に自習に来る人はごく少数です。親御さんからもぜひ進めてもらいたいと考えています。

なかには、パソコンのキーボードが打てないので、敬遠している人もいます。しかし、この点でも、キー入力の練習ソフトも用意していますので、心配は要りません。この練習ソフトを利用すると、10回くらいで相当上達します。キー操作が速くなると、手でやる練習よりも相当速くなり、英語の学習量が増えます。夏休みの課題としてパソコン慣れを組み込んでください。

## 『漢検』のテストは8月22日（水）

漢字の練習をぬかりなく進めてください。かならず合格するように頑張りましょう！